

巻 頭 言

JFE スチール 常務執行役員
薄板セクター長

関田 貴司



自動車と鉄鋼材料は、地球環境（CO₂）負荷低減への取り組み、グローバルな大競争時代、人にやさしい車造りなど、大きな環境の変化の中、緊急かつ重要な多くの課題を有しております。具体的なキーワードは、軽量化・衝突／歩行者安全性・NVH（騒音／振動性能）・耐食性・耐久性・操舵性・開発期間短縮（スピード）、そして、コストであります。

このように自動車に求められる機能がますます多様化・高度化する中で、軽量化と衝突安全性を両立させることが可能なハイテン（高張力鋼）の適用が、近年顕著に増加しており、燃費改善・地球環境改善や、安全性向上に貢献しております。

JFE スチールでは、多様なニーズにお応えできるハイテンの品揃えのみならず、新車開発の初期段階から参画し、お客様の新車コンセプトに沿った車造りのための部品を、材料の視点をベースに加工方法、パフォーマンス評価を含めて開発、提案させていただく EVI（Early Vendor Involvement）活動にも注力しております。

特に、ハイテンは、一般的に、高張力化にともない成形性が劣化し、ばらつきも増大する傾向があるため、車体設計の、より初期段階から材料パフォーマンスを考慮した効率的な車造りが重要となります。その意味で、材料と加工・利用技術の両面からソリューションを提案する EVI 活動は、今後ますます必要性が増大するものと考えております。

JFE 技報 No. 4「自動車用商品とその利用技術特集号」で、当社の特徴ある EVI 技術と商品群の一部を紹介しましたが、本誌 No. 16「薄板ハイテン特集号」では、ハイテンに焦点を当て、材料と加工・利用技術の両面から現状と将来展望をまとめた上で、各要素技術の詳細を論文化しました。

材料（商品）では、外板パネル用、骨格用、及び足廻り用ハイテンのオンリーワン、ナンバーワン商品群を、パフォーマンスのみならず、製造プロセス・原理まで踏み込み、論文化しました。

利用技術では、シミュレーション評価・予測技術を中心としたお客様との取組みを始め、JFE スチールのオリジナル溶接・検査技術を具体的な適用事例を含め、紹

介しています。

なお、最近開発・商品化した GA 高潤滑鋼板 (JAZ) を含め、新商品・新技術も 6 件紹介しております。

JFE スチールは、自動車業界のよきパートナーとして、今後も新しい鉄鋼材料、新技術の開発により、時代の要求する高機能の車造りに貢献していく所存でございます。皆様のいっそうのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。